

平成 29 年改訂学習指導要領の趣旨を踏まえた 学習評価の進め方

中学校 外国語科

この資料は、平成29年改訂学習指導要領（以下、学習指導要領）に基づく学習評価を円滑に進めていくための手引きとして、国立教育政策研究所の「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（以下、「参考資料」）の考え方を基に、佐賀県教育センターが作成したものです。各学校における、指導と評価の一体化に向けた取組の推進にぜひお役立てください。

目次

◆ 1	学習評価の基本的な考え方	1
◆ 2	学習評価の観点	1
◆ 3	中学校外国語科における教科目標、評価の観点及びその趣旨等	2
1	外国語科の目標と英語の目標	
2	中学校外国語科における評価の観点及びその趣旨	
3	各観点における評価のポイントと評価方法の例	
4	「内容のまとめ（五つの領域）」ごとの観点別評価の考え方	
◆ 4	中学校外国語科における学習評価	5
1	学習評価の進め方	
2	単元ごとの目標及び評価規準の設定	
3	単元の「指導と評価の計画」の作成	
4	指導と評価	
5	単元における評価の総括	
6	学期末等や学年末における評価の総括	
◆ 5	中学校外国語科における学習評価事例	19
◆ 6	学習評価の進め方 Q & A	23

◆ 1 学習評価の基本的な考え

○学習評価とは

児童生徒の資質・能力を育成するために、目標に照らして児童生徒一人一人の学習状況を的確に把握すること

○学習評価を行う上で重要なポイント

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

学習評価を行うに当たっては、児童生徒一人一人の資質・能力を育成できるようにすることが大前提です。そのためには、児童生徒の進歩の状況や教科等の目標の実現状況を適切に把握することが必要です。把握した内容は、児童生徒にフィードバックして児童生徒の学習改善につなげられるようにし、教師は自身の指導改善につなげます。このことなくして児童生徒一人一人の資質・能力の育成は望めません。つまり、学習評価を行う上で、「普段の授業の不断の見直し」が不可欠だと言えます。

○学習評価の機能

指導に生かす評価・・・児童生徒一人一人の学習状況を把握し、児童生徒の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のこと

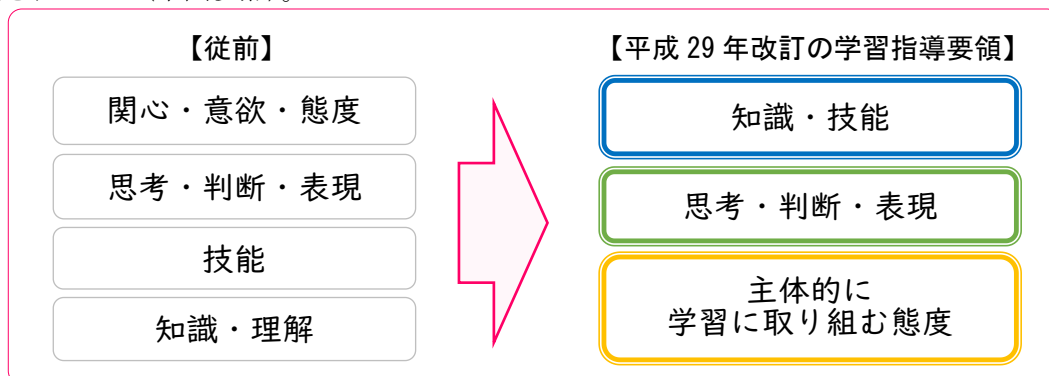
指導に生かす評価の場面は、随時存在します。児童生徒の学習状況を把握し、「おおむね満足できる」状況(B)以上になることを目指して、必要な指導を適宜行います。

記録に残す評価・・・観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のこと

記録に残す評価の場面は、毎時間設定する必要はありません。児童生徒全員の評価を記録に残す場면을精選することが重要です。単元や題材のまとまりの中で、評価規準に照らして、児童生徒の観点別学習状況を把握し、記録します。

◆ 2 学習評価の観点

学習指導要領では、各教科等の目標や内容が、育成を目指す資質・能力の三つの柱を基に整理されました。目標や内容の整理を踏まえ、小・中・高等学校の各教科を通じて、評価の観点も4観点から3観点到整理されました(下図参照)。



◆3 中学校外国語科の教科目標、評価の観点及びその趣旨等

1 外国語科の目標と英語の目標



外国語科の目標は、他教科等と同様に資質・能力の「三つの柱」で整理されています。英語の目標は、「五つの領域」ごとに具体的に示されています。

(1) 外国語科の目標

第1目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

思考力、判断力、表現力等

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

学びに向かう力、人間性等

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説【外国語編】 pp. 10-16 を基に作成

(2) 英語の目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、前述の外国語科の目標(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。

聞くこと

- ア はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。
- イ はっきりと話されれば、日常的话题について、話の概要を捉えることができるようにする。
- ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。

読むこと	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
話すこと [やり取り]	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
話すこと [発表]	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説【外国語編】 pp. 17-29 を基に作成

2 中学校外国語科における評価の観点及びその趣旨

新学習指導要領における評価の観点及びその趣旨は以下の通りです。

観点	趣旨
知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

〔別紙4〕各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨（小学校及び特別支援学校小学部並びに中学校及び特別支援学校中学部）https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/attach/1415195.htm を基に作成

3 各観点における評価のポイントと評価方法（例）

観点	評価のポイント	評価方法（例）
知識・技能	- 次に示す学習指導要領「2 内容」の〔知識及び技能〕における「(1) 英語の特徴やきまりに関する事項」を理解しているかを評価します。 - ア 音声 イ 符号 ウ 語，連語及び慣用表現 エ 文，文構造及び文法事項 - 上記の事項を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかを評価します。 ・「英語使用の正確さ」（言語面）を評価します。	○ペーパーテスト ○実技テスト
思考・判断・表現	- 次に示す学習指導要領「2 内容」の〔思考力，判断力，表現力等〕における「(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項」ができているかを評価します。 - ア 英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉えること - イ 英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を，選択したり抽出したりするなどして活用し，話したり書いたりして事実や自分の考え，気持ちなどを表現すること - ウ 伝える内容を整理し，英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え，気持ちなどを伝え合うこと ・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じた「表現内容の適切さ」（内容面）を評価します。	○ペーパーテスト ○論述 ○レポート ○発表 ○作品制作 ○ポートフォリオ
主体的に学習に取り組む態度	- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを評価します。 - 上記と併せて，言語活動への取組における①粘り強さと②自己調整の二つの側面から特定の領域・単元だけでなく年間を通じて評価を行います。 - 外国語科では，基本的に「思考・判断・表現」と一体的に評価します。	○ノートの記述 ○授業中の発言 ○行動観察 ○自己評価や相互評価

中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説【外国語編】及び「参考資料」等を基に作成

4 「内容のまとまり（五つの領域）」ごとの観点別評価の考え方

中学校外国語科における「内容のまとまり」とは，「聞くこと」，「読むこと」，「話すこと[やり取り]」，「話すこと[発表]」，「書くこと」の五つの領域のことを示します。学習評価をする際は，3 観点と「内容のまとまり（五つの領域）」にしたがって，観点別評価の総括をしていきます。

		「内容のまとまり（五つの領域）」					観点別評価	評価
3 観点		聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと		
3 観点	知識・技能	b	b	c	c	b	B	3
	思考・判断・表現	b	b	c	b	c	B	
	主体的に学習に取り組む態度	b	b	b	b	c	B	

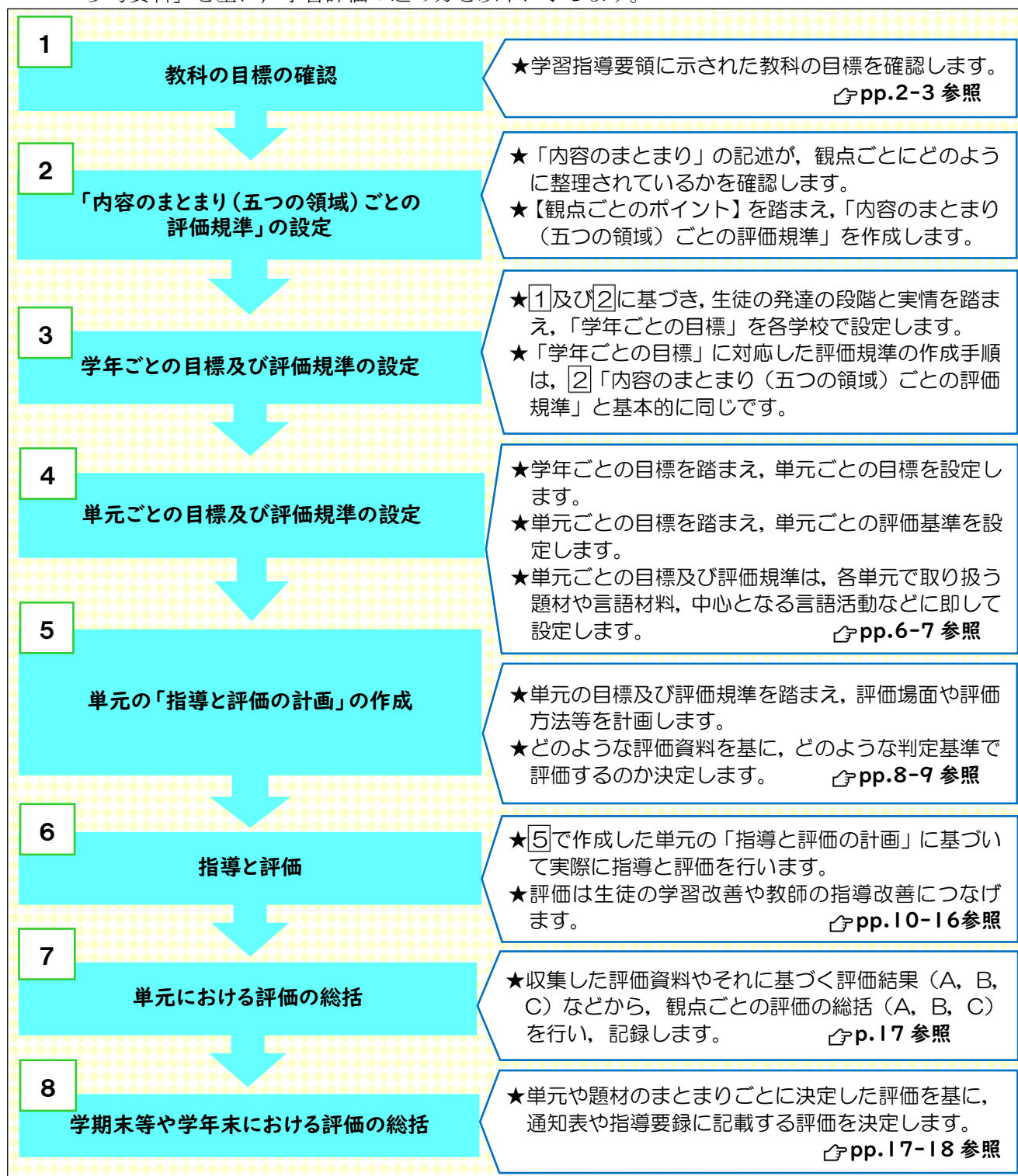


3観点×「内容のまとまり（五つの領域）」の15マスの評価結果を基に，総括的に観点別の評価を行います。総括の方法については各学校で決めておく必要があります。

◆ 4 中学校外国語科における学習評価

1 学習評価の進め方

「参考資料」を基に、学習評価の進め方を以下に示します。



学習評価の進め方**1**～**5**においては、各学校において作成した年間指導計画やCAN-DO リスト等を活用するとよいでしょう。次頁から、学習評価の進め方**4**～**8**までの過程を詳しく説明します。

2 単元ごとの目標及び評価規準の設定

学習評価の進め方⁴「単元ごとの目標及び評価規準の設定」について説明します。

(1) 年間指導計画や CAN-DO リスト等を基に単元の位置付けを確認する。

年間指導計画や CAN-DO リスト等を基に、単元の位置付けを確認します。全体のバランスや前後の単元とのつながり等を考慮した上で、当該単元においてどの「内容のまとまり（五つの領域）」に重点を置くかについて考えることが大切です。

(1) 年間指導計画や CAN-DO リスト等を基に単元の位置付けを確認する。

登場人物が外国から来た友人に日本文化を紹介している単元

年間指導計画を確認してみよう。

日本文化を紹介する単元だから「話すこと〔発表〕」と「書くこと」に重点を置こう。

今回は、日本文化を紹介する単元だな。前の単元では、電話でのやり取りを行い、後の単元では、長い物語文を読むことになっているから…

(2) 単元の目標を設定する。

単元の目標を設定する際には、当該単元において取り扱う題材や言語材料の特徴等を踏まえ、単元全体として捉えさせたい内容や力などに注目します。単元を通して生徒に身に付けさせたい力は何かを考えることで、単元の目標を明確に設定することができます。また、単元の目標は、単元の中心となる言語活動やパフォーマンステストなどに即して設定する必要があります。

(2) 単元の目標を設定する。

登場人物が外国から来た友人に日本文化を紹介している単元

題材は日本文化紹介だから…

言語材料（特定の言語材料）は「受け身」になっている。

まとまりのある内容を話す力や文章を書く力を育てたい。

実際に ALT に日本文化を紹介する言語活動に挑戦させたいな。

この目標に決定!



【単元の目標】

来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話したり文章を書いたりすることができる。

※「参考資料」においては、単元の目標は一文の能力記述文で示されています。

(3) 評価規準を設定する。

単元の目標を設定したら、それに対応した評価規準を設定します。評価する観点ごとに、目標を達成している具体的な生徒の姿を明確にしましょう。評価規準の記述の基本的な形は、「参考資料」の第3編において示されているので参考にしてください。また、目標と評価規準が表裏一体をなす関係にあることから、単元の目標の記述の文末を変換して評価規準とすることも可能です。

(3) 評価規準を設定する。

登場人物が外国から来た友人に日本文化を紹介している単元

【単元の目標】

来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話したり文章を書いたりすることができる。

【評価規準（「書くこと」の評価規準）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・受け身を用いた文の構造を理解している。 ・日本文化について、受け身の文などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。	来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。

特定の言語材料の「英語使用の正確さ」（言語面）を評価します。

コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた「表現内容の適切さ」（内容面）を評価します。

・思考・判断・表現と対の形
・思考・判断・表現と一体的に評価します（例外あり）。
☞ p.17 参照



ここでは、「書くこと」の評価規準を示していますが、実際の評価に当たっては、他領域（「話すこと[発表]」など）での評価規準を設定することも考えられます。

3 単元の「指導と評価の計画」の作成

学習評価の進め方⁵「単元の『指導と評価の計画』の作成」について説明します。指導と評価の一体化の観点から、指導と評価を関連付けて考えることが大切です。指導したことを評価し、評価した結果に基づいて指導します。また、「指導と評価の計画」は、以下の評価の枠組みに留意して作成することが大切です。

○毎回の授業において、**「記録に残す評価」**を行う必要はありません。中学校外国語科において**「記録に残す評価」**は、基本的に「単元終末」の言語活動と「後日」のパフォーマンステストやペーパーテストにおいて行います。

○生徒の学習改善や教師の指導改善のために、日々の授業の中で生徒の学習状況を絶えず評価することが大切です。毎時間生徒の学習状況を見取り、**「指導に生かす評価」**を行いましょう。



事前に「指導と評価の計画」を立てることで、各観点や「内容のまとまり（五つの領域）」をバランスよく総合的に指導及び評価することができます。「参考資料」や表1を参考にして、「指導と評価の計画」を作成しましょう。

【表1 単元の「指導と評価の計画」の例】

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)	知	思	態	[評価方法]
1	■単元の目標を理解する。 ①自己目標を設定する。 ②「外国から見た日本」の映像を見る。 ■教科書本文の内容を捉え、伝え合う。 ③教科書本文を読み、読み取れた内容についてペアで伝え合う。 ④教科書本文に使われている未習の語の意味や受け身の構造と意味を理解する。 ⑤ピクチャー・カードとマッピングを用いて、教科書本文の内容をペアで伝え合う。	本時では、「指導に生かす評価」を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) 教科書本文の内容の読み取りが十分ではない生徒に対しては、読み取りのポイントを示す(言語活動等③)。			
2	■日本文化について、写真とマッピングを用いて、事実や自分の考えを整理しながら伝え合う。 ①日本文化の写真とマッピングを用いて、事実などを整理しながらペアで伝え合う。 ②話した内容を踏まえて、日本文化を紹介する文章を書く。	本時では、「指導に生かす評価」を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) pp.13-14 参照 - 教師が“What is yokan?”や“How much is it?”などと質問し、その答えとなる単語をバルーンとして書くよう促す(言語活動等①)。 5W1Hを意識してバルーンを書くよう助言する(言語活動等①)。			

3	■来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話す。 ①「話すこと[発表]」に関するルーブリック*を確認する。 ②ルーブリックを基に、自己目標を設定する。 ③紹介したい日本文化についてマッピングする。 ④紹介したい日本文化の写真とマッピングを用いて、グループで発表し合う。 ⑤自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明らかにする。	○	○	[発表]
		本時では、「話すこと[発表]」において「記録に残す評価」を行います。 □来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話しているかを評価します。 【思考・判断・表現】 □来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話そうとしているかを評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】		
4	■来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書く。 ①「書くこと」に関するルーブリックを確認する。 ②ルーブリックを基に、自己目標を設定する。 ③前時に発表した内容を踏まえて、日本文化についてまとまりのある文章を書く。 ④書いた文章をグループで読み合い、質問したりコメントを述べたりする。 ⑤グループでやり取りした内容を参考に推敲する。 ⑥自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明らかにする。	○	○	[ワークシート] [振り返りシート]
		本時では、「書くこと」において「記録に残す評価」を行います。 □日本文化について、受け身を用いた文の構造を理解し、正確に書いているかを評価します。 【知識・技能】 □来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いているかを評価します。 【思考・判断・表現】 □来日したばかりの ALT に日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしているかを評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】		
後日	パフォーマンステスト (アメリカの学生にメールを返信する「書くこと」)	○	○	pp.14-16 参照

※前单元より、帯活動において、日本文化紹介で役立つ表現の口頭練習及びミニ日本文化紹介&write（ピクチャー・カードを用いて日本文化を口頭で紹介した後その内容を書く活動）を継続して行っています。

ポイント



実際に評価を行う際には、評価の判定基準[「十分満足できる」状況(A),「おおむね満足できる」状況(B),「努力を要する」状況(C)]を事前に設定しておく必要があります。ルーブリックなどを作成し、それぞれの判定基準を満たす具体的な生徒の姿を明文化しておくといでしょう。また、「努力を要する」状況(C)の生徒への手立てをあらかじめ考えておくことも大切です。

*ルーブリックとは、成功の度合いを示す数レベル程度の尺度と、それぞれのレベルに対応するパフォーマンスの特徴を記した記述語からなる評価基準表です。詳しくは、当センターがHPにアップしている令和元年度発信コンテンツ「单元構成の手順」<https://www.saga-ed.jp/2019/12/24/中学校英語科/>を参考にしてください。

4 指導と評価

学習評価の進め方⁶「指導と評価」について説明します。この段階では、学習評価の進め方⁵で作成した計画にしたがって、実際に指導と評価を行います。計画は、あくまでも生徒の実態や学習状況に応じて立てた見通しです。実際の指導を通して、必要があれば適宜修正を図りましょう。また、生徒の学習状況を絶えず評価し、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげましょう。加えて、評価の総括を行う必要があるため、収集した評価資料に基づく評価結果を確実に記録に残しておくことが大切です。

(1) 「内容のまとめ（五つの領域）」ごとの評価のポイント及び見取る際の具体的な生徒の姿

「内容のまとめ（五つの領域）」ごとの評価のポイント及び見取る際の具体的な生徒の姿（例）を以下に示します（表2～表6）。実際に評価をする際に参考にしてください。



「内容のまとめ（五つの領域）」ごとの各観点において、目標を達成している具体的な生徒の姿をイメージすることが大切です。実際に生徒の姿を見取り、評価を行う際に役立ちます。

【表2 「聞くこと」における評価のポイントと具体的な生徒の姿（例）】

観点	評価のポイント	具体的な生徒の姿（例）
知識・技能	【知識】 - 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している状況进行评估します。 【技能】 - 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な话题について話される文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている状況进行评估します。	○特定の言語材料の理解を基に、天気予報や交通情報などの内容を正確に聞き取っている。 ○リスニングテストにおいて、話される文章の内容を正確に聞き取っている。 など
思考・判断・表現	・日常的话题や社会的な话题について話される文章等を聞いて、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている状況进行评估します。	○店や公共交通機関などで用いられるアナウンスを聞いて、必要な情報を捉えている。 ○ALTのスピーチを聞いて、話全体の大まかな内容を捉えている。 ○エネルギー問題に関する説明を聞いて、話し手が最も伝えたいことを捉えている。 など
主体的に学習に取り組む態度	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的话题や社会的な话题などについて話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えようとしている状況进行评估します。	○以下のような態度が見られる。 例) メモを取りながら聞いている、相づちを打ちながら聞いている、話し手の伝えたいことを確認しながら聞いている、前回の活動の課題を修正している など ○以下のような内容について振り返りの記述が見られる。 例) うまく聞き取れた理由、うまく聞き取れなかった理由、聞いて分からなかった単語、捉えることができなかった情報、今後改善すべきこと など

【表3 「読むこと」における評価のポイントと具体的な生徒の姿（例）】

観点	評価のポイント	具体的な生徒の姿（例）
知識・技能	【知識】 - 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している状況进行评估します。 【技能】 - 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている状況进行评估します。	○特定の言語材料の理解を基に、日記などの短い文章の内容を正確に読み取っている。 ○ペーパーテストにおいて、書かれた文章の内容を正確に読み取っている。など
思考・判断・表現	・日常的な話題や社会的な話題について書かれた文章等を読んで、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている状況进行评估します。	○広告やパンフレットを読んで、読み手として必要な情報を捉えている。 ○物語を読んで、全体のあらすじを捉えている。 ○平和問題の説明文を読んで、文章の大切な部分を捉えている。など
主体的に学習に取り組む態度	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて書かれた文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えようとしている状況进行评估します。	○以下のような態度が見られる。 例) 分かった語句から推測して読んでいる、キーワードに印を付けながら読んでいる、内容を図式化しながら読んでいる、前回の活動の課題を修正しているなど ○以下のような内容について振り返りの記述が見られる。 例) うまく読み取れた理由、うまく読み取れなかった理由、読んで分からなかった単語、捉えることができなかった情報、今後改善すべきことなど

【表4 「話すこと[やり取り]」における評価のポイントと具体的な生徒の姿（例）】

観点	評価のポイント	具体的な生徒の姿（例）
知識・技能	【知識】 - 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している状況进行评估します。 【技能】 - 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている状況进行评估します。	○特定の言語材料を正確に用いて、好きなスポーツについて即興で伝え合っている。 ○特定の言語材料を正確に用いて、週末の予定について伝えたり相手からの質問に答えたりしている。 ○AIに関する記事について、自分の考えを誤りのない英文で伝え合っている。など
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合っている状況进行评估します。	○誕生日にほしいものについて、即興で伝え合っている。 ○家族のことについて伝えたり、その内容に対する質問に答えたりしている。 ○環境問題の新聞記事について、考えたことや感じたこと、その理由などを述べ合っている。など

主体的に学習に取り組む態度	・日常的な話題や社会的な話題などについて、目的や場面、状況などに応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている状況を評価します。	○以下のような態度が見られる。 例) 話す内容、話す速さ、声の大きさ、表情、身振りなどを工夫して伝え合っている、相手の反応を確認しながら伝え合っている、繰り返したり言い換えたりしながら伝え合っている、前回の活動の課題を修正している など ○以下のような内容について振り返りの記述が見られる。 例) うまくやり取りできた理由、うまくやり取りができなかった理由、工夫したこと、今後改善すべきこと など
---------------	--	---

【表5 「話すこと[発表]」における評価のポイントと具体的な生徒の姿(例)】

観点	評価のポイント	具体的な生徒の姿(例)
知識・技能	【知識】 ・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している状況を評価します。 【技能】 ・実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話して表現する技能を身に付けている状況を評価します。	○特定の言語材料を正確に用いて、好きな教科について即興で話している。 ○将来の夢について、誤りのない英文で話している。 など
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話して表現している状況を評価します。	○好きな映画について、即興で話している。 ○自分たちが住む地域について、まとまりのある内容で発表している。 ○人権問題のニュースについて、考えたことや感じたこと、その理由を話している。 など
主体的に学習に取り組む態度	・日常的な話題や社会的な話題などについて、目的や場面、状況などに応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話して表現しようとしている状況を評価します。	○以下のような態度が見られる。 例) 話す内容、話す速さ、声の大きさ、表情、身振りなどを工夫して話している、聞き手が理解できる表現を用いて話している、聞き手の反応を確認しながら話している、前回の活動の課題を修正している など ○以下のような内容について振り返りの記述が見られる。 例) うまく発表できた理由、うまく発表できなかった理由、工夫したこと、今後改善すべきこと など

【表6 「書くこと」における評価のポイントと具体的な生徒の姿（例）】

観点	評価のポイント	具体的な生徒の姿（例）
知識・技能	【知識】 ・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している状況进行评估します。 【技能】 ・実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて書いて表現する技能を身に付けている状況进行评估します。	○ペーパーテストにおいて、特定の言語材料を含む文を正確に書いている。 ○夏休みの思い出について、誤りのない英文で書いている。など
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて書いて表現している状況进行评估します。	○学校生活について、内容的にまとまりのある文章を書いている。 ○日本文化について、文章構成を意識して一貫性のある文章を書いている。 ○世界情勢について、考えたことや感じたこと、その理由などを書いている。など
主体的に学習に取り組む態度	・日常的话题や社会的な话题などについて、コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて書いて表現しようとしている状況进行评估します。	○以下のような態度が見られる。 例) 読み手が理解できる表現を用いて書いている、文章構成を意識して書いている、書き始める前に書く内容をマッピングしている、前回の活動の課題を修正している など ○以下のような内容について振り返りの記述が見られる。 例) うまく書けた理由、うまく書けなかった理由、工夫したこと、今後改善すべきこと など

(2) 評価の具体例

ア 指導に生かす評価

8頁で示した【表1 単元の「指導と評価の計画」の例】における第2時に行った活動を例に、**〔指導に生かす評価〕**の具体を示します。

(7) 評価場面

日本文化の写真とマッピングを用いて、事実などを整理しながらペアで伝え合う言語活動

(イ) 活動の手順

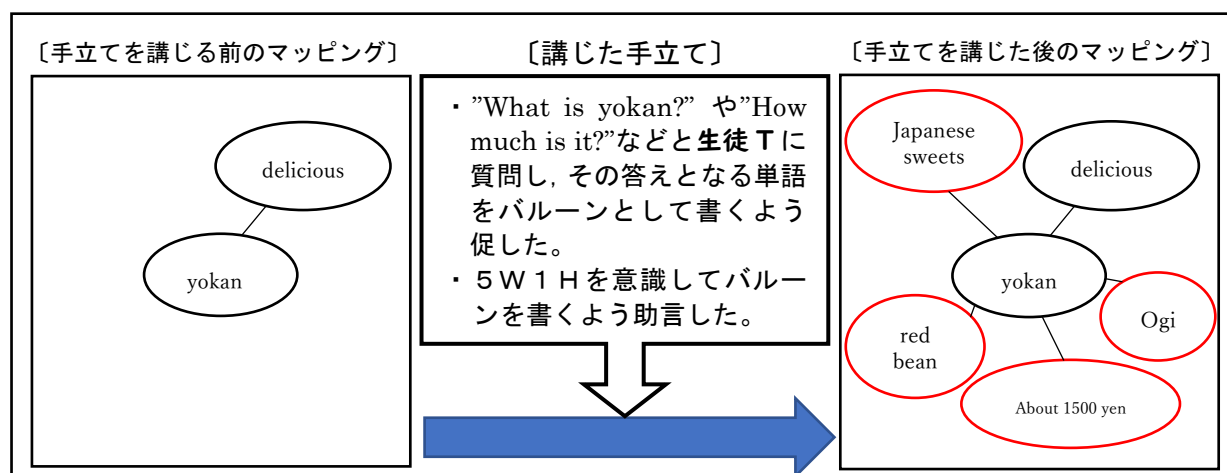
- 1 紹介する日本文化の写真を選ぶ。
- 2 紹介する日本文化について写真の裏にマッピングする。
- 3 マッピングを基に、写真を見せながらペアで日本文化について伝え合う。
- 4 ペアを変えて、写真を見せながら日本文化について伝え合う。

(ウ) 「努力を要する」状況(c)への手立てと生徒のマッピングの変容



マッピングでつまずきが見られた生徒 T

生徒 T は「ようかん」の写真を選び、マッピングに取り組みましたが、なかなかバルーンの数を増やすことができませんでした。そこで、以下のような手立てを講じました(次頁資料1)。



【資料 1 生徒 T のマッピングの変容】

生徒 T は、手立てを講じる前“yokan”から派生するバルーンを”delicious”の 1 つしか書いていませんでした。そこで、教師が”What is yokan?”や”How much is it?”などと質問し、その答えとなる単語をバルーンとして書くよう促しました。また、5W1Hを意識してバルーンを書くよう助言しました。手立てを講じた後、生徒 T はバルーンを 5 つに増やすことができました。その結果、マッピングを基に、「ようかん」について事実などを整理しながらペアで伝え合うことができました。

ポイント



教師が生徒 T の学習状況を的確に見取り、適切な手立てを講じたため、生徒 T は第 2 時のねらいに迫ることができました。このように、適宜〔指導に生かす評価〕を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげることが大切です。

イ 記録に残す評価

9 頁で示した【表 1 単元の「指導と評価の計画」の例】における後日行ったパフォーマンステストを例に、〔記録に残す評価〕の具体を示します。

(7) パフォーマンステスト（アメリカの学生にメールを返信する「書くこと」）

〔指示文〕

アメリカに住む学生のジョンからあなたに次のようなメールが届きました。あなたはこれからジョンにメールを返信します。ジョンが知りたいことについて一つ選び、その具体的な説明やお勧めの理由などを含めてメールを作成し、返信しましょう。

Hi, I'm John. I'm a junior high school student in the U.S.
I'm really interested in Japan. Especially, I want to read Japanese manga. What is the most popular manga in Japan? Please tell me the title and its story.
I want to know delicious Japanese food too. What do you recommend? I want to try it.
I'm looking forward to hearing from you soon.
Thanks,
John



(4) 採点の基準

「思考・判断・表現」においては、評価をする際の条件を 3 つ設定しました（次頁資料 2）。その上で、パフォーマンステスト（「書くこと」）のルーブリック（次頁表 7）を作成し、各観点において評価することとしました。

- 【条件1】：ジョンが知りたいこと（日本の漫画 or おいしい日本食）について紹介している。
- 【条件2】：ジョンが知りたいことについて、ジョンの興味を喚起するように説明している。
- 【条件3】：事実や自分の考えを整理して、お勧めの理由を書いている。

【資料2 「思考・判断・表現」を評価する際の条件】

【表7 パフォーマンステスト（「書くこと」）のルーブリック】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で書くことができる。	3つの条件を満たして書いている。	3つの条件を満たして書こうとしている。
b	一部誤りがあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。	1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たして書いている。	1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たして書こうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(ウ) 生徒のメール記述例及び評価結果

生徒1 
【メール記述例】

Hi, John. Thank you for your e-mail.

I like Japanese food is natto. 【条件1】

Natto is famouse Japanese food. It made by soybeans. It's good. 【条件2】

Pleese eat natto. It's very dericiasu and you can buy natto Amerika too. 【条件3】

Your Friend,

Kenta

※下線部は誤りのある英文

【ルーブリックに基づく分析】

【知識・技能】

- 綴りや語順等に間違いがある。また、受け身の特徴やきまりを理解せず正確に書いていない。

【思考・判断・表現】

- ジョンが知りたいこと（おいしい日本食）について紹介している。

⇒【条件1】を満たしている。

- 納豆について「有名」「豆からできている」と説明しているが、ジョンは納豆がどんな食べ物かあまり分からなかったため、納豆を食べたいとは思わなかった。

⇒【条件2】を満たしていない。

- 「納豆はおいしくてアメリカでも買える」とお勧めの理由を書いている。

⇒【条件3】を満たしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- パフォーマンステストへの取組の観察結果を加味しつつ、【思考・判断・表現】と一体的に評価した。

【評価結果】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a~c	c	b	b
判断した理由	正確な英文で書くことができていない。	条件2を満たしていないが、条件1, 3を満たして書いている。	条件2を満たしていないが、条件1, 3を満たして書こうとしている。

生徒2



【メール記述例】

Hi, John. Thank you for your e-mail.

Do you know *Kimetsu no Yaiba*? **【条件1】**

It is the most popular manga in Japan. Main character is Tanjiro. When Tanjiro is not at home, his family is killed by a demon. Only his sister Nezuko survives, but she becomes a demon. Tanjiro starts to slay demons to turn his sister back into a normal person. **【条件2】**

I want you to read *Kimetsu no Yaiba* because it's exciting and moving. It tells you many important things like friendship and love. I think you will like it. **【条件3】**

Your Friend,

Hanako

【ルーブリックに基づく分析】

【知識・技能】

- ・全て正しい英文で書いている。

【思考・判断・表現】

- ・ジョンが知りたいこと（日本の漫画）について紹介している。

⇒ **【条件1】**を満たしている。

- ・ジョンの興味を喚起するように漫画のあらすじを説明しており、ジョンは生徒2が紹介した漫画を読みたいと思った。

⇒ **【条件2】**を満たしている。

- ・「わくわくする」「感動する」「友情や愛など大切なことを教えてくれる」など、お勧めの理由を書いている。

⇒ **【条件3】**を満たしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・パフォーマンステストへの取組の観察結果を加味しつつ、【思考・判断・表現】と一体的に評価した。

【評価結果】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a~c	a	a	a
判断した理由	誤りのない正しい英文で書くことができる。	3つの条件を満たして書いている。	3つの条件を満たして書こうとしている。



「努力を要する」状況(c)と評価した生徒がいた場合は、「おおむね満足できる」状況(b)となるように、次の単元以降も意図的に対象生徒を観察し、継続した指導や助言を行うようにしましょう。

5 単元における評価の総括

学習評価の進め方⁷「単元における評価の総括」について説明します。各単元終了後、収集した評価資料やそれに基づく評価結果から、「内容のまとめり（五つの領域）」ごとに各観点の評価の総括を行い、記録に残します。その例を以下に示します（表8）。

【表8 当該単元の「書くこと」における各観点の評価の総括】

観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度					
時間	第4時	後日	単元における評価	第4時	後日	単元における評価	第4時	後日	単元における評価			
評価方法	ワークシート記述分析	メール記述分析（パフォーマンステスト）		ワークシート記述分析	メール記述分析（パフォーマンステスト）		行動観察・振り返りシート分析	パフォーマンステストへの取組の観察				
評価基準	・受け身を用いた文の構造を理解している。 ・日本文化について、受け身の文などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。			コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日本文化について事実や考えを整理し，文と文のつながりなどに注意しながら，まとまりのある文章を書いている。			コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日本文化について事実や考えを整理し，文と文のつながりなどに注意しながら，まとまりのある文章を書こうとしている。					
生徒1	c	c		C	c		b	B		c	b	B
生徒2	a	a	A	a	a	A	a	a	A			
生徒3	b	b	B	c	b	B	b	b	B			

※生徒1は、「思考・判断・表現」において、第4時の言語活動では「c」、後日のパフォーマンステストでは「b」となっています。単元の評価の総括は、「B」と「C」のいずれの判断もあり得ますが、ここでは後日のパフォーマンステストの結果を重視し「B」としています。

※生徒3は、第4時において、「思考・判断・表現」を「c」としていますが、「主体的に学習に取り組む態度」は「b」としています。この2つの観点は基本的に一体的に評価することとなっていますが、しようとしている態度が明らかに見られた場合、「思考・判断・表現」が「c」であっても、「主体的に学習に取り組む態度」を「b」とすることも考えられます。

ポイント



上記の下線部のケースの他に、「参考資料」には、「思考・判断・表現」が「c」であっても、「主体的に学習に取り組む態度」を「b」としている例が挙げられています。
・学期末等の総括の段階で、「b」と「c」のどちらでもあり得る際に、振り返りで記述している内容が、その後の言語活動への取組に現れている場合

6 学期末等や学年末における評価の総括

最後に、学習評価の進め方⁸「学期末等や学年末における評価の総括」について説明します。

(1) 学期末等における評価の総括

学期末等における評価の総括の手順は、まず「内容のまとめり（五つの領域）」ごとに観点別の評価結果を出します（次頁表9）。次に、その結果を基に、学期末等の観点別評価を付けて、総括的に評価をしていきます（次頁表10）。

当該学期においては、1課と2課を通じて「書くこと」に重点を置いて指導を行い、2課終末の言語活動と後日のパフォーマンステスト、学期末のペーパーテスト（以下、期末テスト）において、**記録に残す評価**を行いました。3課では、「話すこと〔発表〕」に重点を置いて指導を行い、3課終

末の言語活動と後日のパフォーマンステストにおいて、「記録に残す評価」を行いました。「聞くこと」と「読むこと」においては、期末テストにおいて「記録に残す評価」を行いました。生徒3を例に、学期末の評価の総括について以下に示します。

【表9 学期末における生徒3の「内容のまとまり（五つの領域）」ごとの評価結果】

	聞くこと		読むこと		話すこと [やり取り]	話すこと[発表]			書くこと			
	期末 テスト	評価 結果	期末 テスト	評価 結果		3課	パフォー マンス テスト	評価 結果	2課	パフォー マンス テスト	期末 テスト	評価 結果
知	b	b	b	b		b	b	b	b	b	b	b
思	c	c	c	c		c	b	b	c	b	b	b
態	c	c	c	c		b	b	b	c	b	b	b

※「話すこと [発表]」における「思考・判断・表現」の評価結果は、「b」と「c」のいずれの判断もありますが、ここではパフォーマンステストの結果を重視し「b」としています。

※「書くこと」における「思考・判断・表現」の評価結果は、「b」と「c」の数の比率と学習を行うにしたがって「c→b」と向上が見られることから「b」としています。



【表10 学期末における生徒3の評価の総括】

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別評価	評定
知	b	b		b	b	B	3
思	c	c		b	b	B	
態度	c	c		b	b	B	

※「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」において、「聞くこと」は「c」、「読むこと」は「c」、「話すこと [発表]」は「b」、「書くこと」は「b」となっていますが、当該学期においては、「書くこと」及び「話すこと [発表]」の領域に重点をおいて指導したことから、その結果を重視して総括では「B」としています。



学期末等において評価を総括する際には、3観点全ての評価結果がそろっている必要があります。しかし、「内容のまとまり（五つの領域）」に関してはその限りではありません。

(2) 学年末における評価の総括

学年末における評価の総括の手順は、学期末等の手順と基本的に同じです。ただし、3観点と全ての「内容のまとまり（五つの領域）」において15マス全ての評価結果がそろっていることが必須です（表11）。そのため、年間を見通して指導と評価の計画を立てるとともに、生徒の学習状況を適宜評価し、記録に残しておくことが大切です。

【表11 学年末における評価の総括の例】

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別評価	評定
知	b	b	c	c	b	B	3
思	b	b	c	b	c	B	
態度	b	b	b	b	c	B	

◆5 中学校外国語科における学習評価事例

外国語科 キーワード 「話すこと [発表]」における「思考・判断・表現」の評価	
単元 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 My Project 6 CM を作ろうーこんなものがほしい	内容のまとめり 「話すこと [発表]」イ

1 単元の目標と評価規準

(1) 目標

CM を見た人に商品を買ってもらうために、その商品のお勧めポイントや特典について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

(2) 評価規準（「話すこと [発表]」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	CM を見た人に商品を買ってもらうために、その商品のお勧めポイントや特典について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	CM を見た人に商品を買ってもらうために、その商品のお勧めポイントや特典について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。

2 指導と評価の計画(全3時間)

※前単元より帯活動において、CMで役立つ表現の口頭練習及びメモを用いたミニ商品紹介を継続して行っています。

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)	知	思	態	[評価方法]
1	■単元の目標を理解する。 ①自己目標を設定する。 ②「外国のCM」を視聴する。 ■教科書本文(CM 台本)の内容を読み取り、効果的なCMの構成や表現を知る。 ③教科書本文(CM 台本)を読み、読み取れた内容についてペアで伝え合う。 ④CMを見た人に商品を買ってもらうために効果的なCMの構成や表現についてペアやグループで確認する。 ⑤効果的なCMの構成や表現について全体で共有する。				本時では、 〔指導に生かす評価〕 を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・教科書本文の内容の読み取りが十分ではない生徒に対しては、読み取りのポイントを示す(言語活動等③)。
2	■CMを見た人に商品を買ってもらうために、その商品のお勧めポイントや特典について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す。 ①CMのモデルを確認する。 ②「話すこと [発表]」に関するルーブリックを確認する。 ③CMの展開を図式化したメモを作成する。 ④CMの展開を図式化したメモを用いて、ペアで口頭練習する。 ⑤CMの展開を図式化したメモを用いて、商品について他のペアで伝え合う。				本時では、 〔指導に生かす評価〕 を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・前時⑤で共有した効果的なCMの構成や表現を想起するよう助言する(言語活動等③)。 ・図式化したメモを用いた発話が十分ではない生徒に対しては、やり取りする中で、生徒が言いたい表現を英語に置き換えて繰り返し聞かせ、発話できるようにする(言語活動等④)。

3	■CM を見た人に商品を買ってもらうために、その商品のお勧めポイントや特典について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す。 ①「話すこと[発表]」に関するルーブリックを基に、自己目標を設定する。 ②発表会を行い、ルーブリックを基に、相互評価を行う。 ③自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明らかにする。	○	○	[発表] ⇨ pp.20-22 参照 [行動観察] [振り返りシート]
本時では、「話すこと[発表]」において〔記録に残す評価〕を行います。 □CM を見た人に商品を買ってもらうために、その商品のお勧めポイントや特典について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話しているかを評価します。 【思考・判断・表現】 □CM を見た人に商品を買ってもらうために、その商品のお勧めポイントや特典について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしているかを評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】				
後日	ペーパーテスト(CM 台本を書く「書くこと」)	○	○	[定期テスト]

3 評価の実際

(1) 採点の基準

「思考・判断・表現」においては、評価をする際の条件を3つ設定しました（資料3）。その上で、言語活動（「話すこと（発表）」）のルーブリック（表12）を作成し、各観点において評価することとしました。

【条件1】：文章構成（①お勧め商品の提示⇒②商品のお勧めポイントの提示⇒③特典の提示⇒④決め台詞）を意識して話している。

【条件2】：商品を買いたくなるようなお勧めポイントについて具体を示して説明している。

【条件3】：商品を買いたくなるような特典を提示している。

【資料3 「思考・判断・表現」を評価する際の条件】

【表12 言語活動（「話すこと[発表]」）のルーブリック】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a		3つの条件を満たして話している。	3つの条件を満たして話そうとしている。
b		1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たして話している。	1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たして話そうとしている。
c		「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(2) 生徒の CM 発表例及び評価結果

生徒の CM 発表例及び評価結果を以下に示します。今回の言語活動では、生徒 A、B 共に店員 (Clerk) 役を務めました。

生徒 A



【CM 発表例】

文章構成	Customer	Clerk (生徒 A)
①お勧め商品の提示	What should I do? I can't separate egg whites and yolks well. I see.	Don't worry! Here's "Wakuwaku Omelet Rice Maker" for you! This is very useful and very popular in Japan.
②商品のお勧めポイントの提示	That's nice! Oh, it's good! Wow! Wonderful!	It has three good points. First, you can easily separate egg whites and yolks. Look! Like this! (ジェスチャー) Second, it has a die-cutting and you can choose from three types: flower, star and heart. Third, you can make omelet rice cute and easy. Like this! (ジェスチャー) Even small children can make it. 【条件2】
③特典の提示	Great! I want yellow one. But it must be expensive. Incredible!	And we have three colors only now! Green, white and yellow. No no! It is cheaper than you think. Just 100 yen! And now free shipping! 【条件3】
④決め台詞 【条件1】		It's a limited sale. Don't miss out!

【ループリックに基づく分析】

【思考・判断・表現】

- 文章構成（①お勧め商品の提示→②商品のお勧めポイントの提示→③特典の提示→④決め台詞）を意識して話している。
⇒ **【条件1】**を満たしている。
- 商品を買いたくなるようなお勧めポイントについて具体例を示したり追加説明をしたりしている。
⇒ **【条件2】**を満たしている。
- 「色」「値段（100円）」「送料無料」など、商品を買いたくなるような特典を提示している。
⇒ **【条件3】**を満たしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 言語活動への取組の観察結果及び振り返りの記述を加味しつつ、【思考・判断・表現】と一体的に評価した。

【評価結果】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a~c		a	a
判断した理由		3つの条件を満たして話している。	3つの条件を満たして話そうとしている。

生徒 B



【CM 発表例】

文章構成	Customer	Clerk(生徒 B)
①お勧め商品の提示	Oh, no! I dropped my popsicle. I wanted to eat it. Really?	Here's "Easy Popsicle Maker" for you! You can eat ... popsicles anytime. Yes!
②商品のお勧めポイントの提示	Excellent!	It has two good points. First, you can make cute ... popsicles. Second, you can use any juice ... at home. 【条件2】
③特典の提示	I want "Easy Popsicle Maker". But it must be expensive. Wonderful!	No no! Just 100 yen! If you buy this today, ... you can get a free gift. 【条件3】
④決め台詞 【条件1】		Don't miss out!

【ループリックに基づく分析】

【思考・判断・表現】

- ・文章構成（①お勧め商品の提示→②商品のお勧めポイントの提示→③特典の提示→④決め台詞）を意識して話している。
⇒ **【条件1】**を満たしている。
- ・商品を買いたくなるようなお勧めポイントを説明しているが、具体を示していない。
⇒ **【条件2】**を満たしていない。
- ・「値段（100 円）」「free gift（おまけ）」など、商品を買いたくなるような特典を提示している。
⇒ **【条件3】**を満たしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・言語活動への取組の観察結果及び振り返りの記述を加味しつつ、【思考・判断・表現】と一体的に評価した。

【評価結果】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a~c		b	b
判断した理由		条件2を満たしていないが、条件1, 3を満たして話している。	条件2を満たしていないが、条件1, 3を満たして話そうとしている。

4 事後指導

CM 発表において、「努力を要する」状況 (c) と評価した生徒がいた場合は、「おおむね満足できる」状況 (b) の達成に向けて、次の単元以降も継続した指導と支援を行います。例えば、帯活動において、マッピングを基に生徒の興味のある題材について話す活動を継続して行います。その際、生徒のつまずきに応じて助言や指導を行い、改善状況を見取っていきます。

◆6 学習評価の進め方 Q&A



Q1 単元終末に、環境問題についての文章を読んでその要点を捉え（「読むこと」）、自分の考えを理由を交えて書く（「書くこと」）といった領域を統合した言語活動を行う予定です。その場合、「読むこと」と「書くこと」両方とも〔記録に残す評価〕を行う必要がありますか。

A 必ずしもその必要はありません。単元の特徴や前後の単元とのバランスを踏まえて、評価する観点や「内容のまとまり（五つの領域）」を絞り、「読むこと」と「書くこと」の両方の指導は行うけれども、〔記録に残す評価〕は「読むこと」だけで行い、「書くこと」では行わないということも考えられます。

Q2 「主体的に学習に取り組む態度」の「粘り強さ」はどのように見取ればいいですか。

A 「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、基本的に「思考・判断・表現」と一体的に評価しつつ、言語活動への取組状況を観察したり振り返りの記述を分析したりして、その結果を加味します。生徒の態度を見取るということは、これまでと同様です。「粘り強さ」を見取る際は、各言語活動において粘り強く取り組んでいる具体的な生徒の姿をあらかじめイメージしておくといよいでしょう。例えば、自分の考えを言い換えたりジェスチャーを使ったりして相手に伝えようとしている、発表内容を何度も校正している、のような姿が考えられます。イメージした生徒の姿に実際の生徒の姿を照らし合せながら見取り、評価を行うといよいでしょう。

◆参考資料

- ・ 文部科学省 『中学校学習指導要領(29年告示)解説 外国語編』 平成29年7月
〔別紙4〕各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨（小学校及び特別支援学校小学部並びに中学校及び特別支援学校中学部） 平成31年4月
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/nc/_icsFiles/afieldfile/2019/04/09/1415196_4_1_2.pdf
- ・ 国立教育政策研究所 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校外国語』 令和2年3月
『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校外国語』 令和2年3月
- ・ 田中 耕治編集代表 『シリーズ学びを変える新しい学習評価 理論・実践編2 各教科等の学びと新しい学習評価』 ぎょうせい 令和2年1月
- ・ 本多 敏幸 『ペーパーテスト&パフォーマンステスト例が満載！中学校外国語新3観点の学習評価完全ガイドブック』 明治図書 2020年10月
- ・ 松畑 熙一 ほか 『SUNSHINE ENGLISH COURSE 2』 平成28年 開隆堂